

# 総務教育委員会

協議会  
8月10日

## 幸田町地域公共交通会議 が開催される

**問** 幸田町に相応しい公共交通を作り上げるため、幸田町地域公共交通会議が設置され、第1回目の会議が令和4年7月25日開催された。構成員は、学識経験者、交通事業者、住民、利用者、行政の関係者などである。

**問** 藤田乗合直行タクシーの利用者で、坂崎、深溝、豊坂学区の人がほとんどいないのは何故か。

**答** 発着場の相見駅から遠いからだと思う。役場を追加してから菅谷、横落の利用者が増えて来た。

**問** 年2回の会議だけで良いのか。住民の声を聴く機会を増やす事も大事だと思うが、どんな形がいいか考える。



役場発の藤田乗合直行タクシー

**問** えこたん、藤田直行、チョイソコの交通手段が分かりづらいので、利用する気にならないのではないかと。基本的な利用例を分かりやすく示し、周知を図るよう検討する。(その他7項目を協議)

# 福祉産業建設委員会

協議会  
8月8日

## 岩堀区に念願の住民広場 設置決まる

**答** 岩堀住民の長年の努力が実り、設置されることになった。

地域住民の運動の場・集いの場、子ども会や老人クラブ等の活動の場として、また、地元開催行事を行う場所など、地域住民の健康増強と、住民相互の連帯感の育成を図る目的である。

**問** 着工に向けたコロナ対策は。

**答** 今回特別と考へてないが、わしだ住民広場設置に倣って実施する。

**問** 日除け、雨除けは。

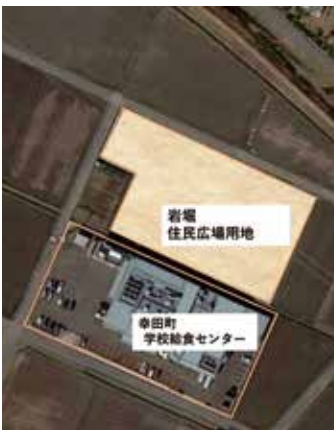
**答** 今は考えていない。

**問** グラウンドとして、使用できる造成は。現在、田んぼとして利用のため、すき取り1300㎡、盛土3000㎡の造成が必要。

**問** トイレのグレードは。

**答** わしだ住民広場と同等の物を考へている。

▼敷地面積4970㎡  
▼今後の予定  
R5年10月工事着手  
R6年4月供用開始  
(その他7項目を協議)



岩堀住民広場予定地

# 福祉産業建設委員会

管内視察  
8月24・26日

## 生活用水・農業用水・工業用水 の現状視察



坂崎低区配水場の説明を受ける委員

◇坂崎低区配水場  
幸田浄水場からの水をタンクに溜めて、各家庭に配水している。

8月24日

今回発生した明治用水頭首工漏水事故の発生とともに、水の配水に危機感を持った。そこで、幸田町を支える関係先を視察することとなった。

◇幸田浄水場  
矢作川の水を明治用水頭首工で取水し、約20km下流の幸田浄水場で浄水処理をして飲み水とする。幸田浄水場から永野・深溝・坂崎配水場に送水している。幸田町だけでなく岡崎市や西尾市、遠くは碧南市まで送っている。



県営幸田浄水場



農水省の説明を受ける委員

◇明治用水頭首工  
豊田市郊外にあり、西三河の農工業の配水源になっており、一般の漏水事故は大きな痛手となっている。西三河9市1町は、一日も早い復旧を願い、現在対策を進めている。

8月26日



明治用水頭首工漏水箇所

◇矢作川分派堰と防災ステーション  
矢作川本川から矢作古川への流入を抑える役割を担う分派堰を視察。  
防災活動の拠点として、防災用資機材の備蓄等を行い、防災体制の強化及び市民の防災意識を高める目的で設置された防災ステーションも合わせて視察。



防災ステーションに配備された国交省の排水ポンプ車



分派堰の状況を見る委員